

## 目標達成計画

事業所：グループホーム「遊宴」真栄

作成日：平成 25年 1月 14日

市町村受理日：平成 25年 1月 23日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を確認し周知に努めている。ホーム内の目の付く所に掲示し、常に意識し支援に活かすようにしているが、どう実践に活かされているか取組みを示す	法人の理念のほかに当ホームとしての理念の実践に向けて、より一層の質の向上に取り組む	・定例会議で理念について再度検討し研修報告としてまとめる。・職員一人一人がどういう支援をしたいかを検討する。・地域に向けて実践出来る事から取組み記録に残す。(認知症サポーター養成講座)	1年
2	4	運営推進会議の内容を開示し、職員、ご利用者ご家族に議事録を報告しているがサービスの向上に活かしてきていない。	外部評価で得られたサービスの改善に向けた協議を運営推進会議で取組みの内容や進捗状況が報告できる様にする。	・運営推進会議の都度、外部評価で得られた課題「目標達成計画」を提示しながら取組みの進捗状況を報告し議事録に記載する。	1年
3	10	運営に関するご利用者、ご家族等の意見や要望を把握する努力は見られるが、ぐたいてきな成果にいたっていない。	ご家族と信頼関係の構築とコミュニケーションを密にし意見や要望を取り入れた支援を実施しホームの運営とサービスの質の向上に反映されるよう取り組む。	・ご家族が来訪された際は、職員から啓発的に声を掛け、意見や要望をいただけるよう努める。・アンケートの実施により意見を頂く。・頂いた意見をまとめ機関紙に報告する。	1年
4	26	日々のモニタリングから介護計画の見直しの必要性やカンファレンスが開かれているが、ケース記録と介護計画の連動性が必要である。また、計画に対するご家族への説明や話し合いが事前に必要。	日々のケース記録時に常に介護計画を意識し連動するよう記録する。プラン変更や計画更新前には、事前にご家族と日程調整を行い意見や要望が計画に反映されるように取り組む。	・計画書の為だけでなく日々コミュニケーションに努め小さな意見や要望を反映させる。・ご家族と日程調整を図り、話し合いの時間をもち話しやすい環境づくりをする。	6ヶ月
5	35	災害対策の問題点を見直す。あらゆる災害を想定した日常の備えを整備する。	災害に対応する備蓄の充実と災害時を想定した訓練を行う。近隣住民の参加要請など取組みを強化する。	・近隣の方に運営推進会議の参加を呼びかける。・事業所の災害時を想定した避難訓練に参加の要請を行う。・訓練時には事業所の現況報告する。	6ヶ月 5月の訓練に向け呼びかけ

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。